

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

2015 年出生児を対象としたハイリスク新生児医療全国調査

【目的】

本調査の目的は、2015 年に出生した超低出生体重児の死亡率を明らかにするとともに、過去の調査と比較してどのように変化しているのかを明らかにすること、さらには死亡率に影響を及ぼす要因を検討することです。またわが国の周産期医療の特徴として、超低出生体重児の死亡率は諸外国と比べて著しく低い一方、未熟児網膜症や慢性肺疾患といった、早産児特有の合併症の頻度が高いことが分かっています。本調査では死亡率とともに、これらの合併症の発生頻度についても調査を行い、わが国における現状を把握、諸外国との国際比較を行う際のデータとして使用するとともに、今後のわが国の周産期医療の更なる発展につなげることを目的としています。

【対象】

2015 年 1 月から 2015 年 12 月に出生体重 1,000g 未満で出生した新生児（超低出生体重児）

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、オンライン上のデータベースへ入力します。入力したデータは日本小児科学会事務局で管理され、解析されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（出生体重、在胎期間、性別、新生児搬送・母体搬送の有無、分娩形式、母体へのステロイド投与の有無、臨床的絨毛膜羊膜炎の有無、妊娠高血圧症候群の有無、児が入院した日齢、児の合併症、児の転帰、退院時の体格、在宅医療の有無等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから 2021 年 9 月 30 日まで

【研究代表者】

日本小児科学会 新生児委員会 委員長 日下 隆

【共同研究機関】

国内の周産期医療施設（前回調査では約 900 施設で実施）

【当院の研究責任者】

小児科 緒方 大輔

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56
電話 045-331-1961（病院代表） 小児科 緒方 大輔

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。